

がん細胞治療30年から再生医療へ — 安全性の考え方と幹細胞培養上清治療の理論・臨床経験 —

新横浜かとうクリニック
院長
加藤 洋一 (Yoichi Kato)



【要旨】

LAK（活性化リンパ球治療）やDCワクチン（樹状細胞ワクチン）など、がん免疫細胞治療に約30年間携わってきた経験から、細胞を用いる医療における「有効性」と「安全性」の両立について考察する。細胞製造、出荷判定、保管・輸送、投与、投与後のフォローアップまでの一連のワークフローを概説し、製品の一貫性、力価および臨床成績を維持するために重要な工程パラメータ（CPP）と品質特性（CQA）を中心に、再生医療を安全に実施するための基本的な考え方を解説する。さらに、間葉系幹細胞が分泌するサイトカイン、成長因子、細胞外小胞（エクソソーム等）によるパラクライン作用が炎症制御、組織修復、血管新生、細胞保護の理論的背景を紹介する。実臨床で経験した症例の治療前後の変化と安全性を提示し、細胞そのものを用いる治療から細胞分泌因子を活用する治療へと広がる再生医療の可能性と今後の課題を展望する。

【略歴】

1992年 日本大学医学部卒 医師
1999年 日本大学大学院卒 医学博士
消化器外科医として臨床経験を積み、消化器外科専門医を取得
国立がん研究センター研究所にて、がん免疫療法・腫瘍免疫学の研究に従事
2008年 新横浜かとうクリニック開設
現在 医療法人社団 神樹会 理事長
新横浜かとうクリニック 院長
がん免疫療法、再生医療、一般内科、在宅医療などの診療に従事
特に樹状細胞ワクチン、活性化リンパ球療法（LAK）などのがん免疫細胞治療について、基礎研究から臨床応用まで継続して取り組む
2010～2018年 横浜市港北区医師会 在宅医療担当
2017年～ 横浜外科医会 副会長
2018～2022年 横浜市港北区医師会 副会長
2012年より 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事
2024年より 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 副理事長
2026年より 一般社団法人かなふく総研 副理事長
がん免疫療法・再生医療に加え、地域医療、在宅医療、医療・介護連携にも取り組んでいる

【所属学会・所属団体】

日本再生医療学会
日本癌学会
日本癌治療学会
日本外科学会 等



一般社団法人
国際抗老化再生医療学会
World Academy of Anti-aging & Regenerative Medicine